vivo
当社は、HS財団の動物実験第三者認証施設です

第 73号
2013年（平成25年）10月1日（業務企画部発行）
株式会社日本バイオリサーチセンター
Nihon Bioresearch Inc.
〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地
TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432
URL:http://www.nbr.co.jp/

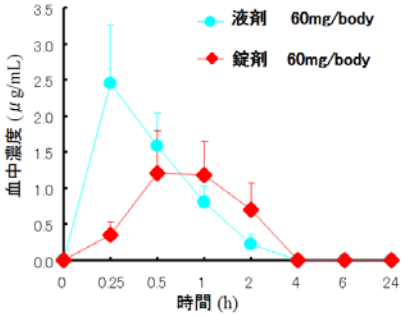
錠剤を投与して薬物を評価します！

非臨床試験の目的は人への外挿性の高い生物反応を再現することです。医薬品には、**錠剤、カプセル剤**など多種の剤形があり、期待される作用や用途に合わせて適切な剤形が設定されています。同じ薬物でも剤形が違うと吸収性や持続性が異なり、その結果、効果や反応が違うことが考えられます。当社では、**ラット及びウサギ**に**錠剤を投与**して**臨床に近い**薬物の効果や反応を評価することが可能です。

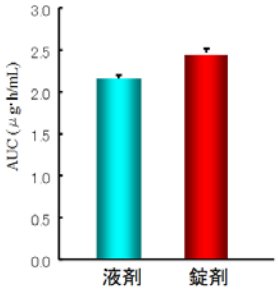
錠剤及び液剤投与後24時間までの血中濃度

ウサギ

＜血中濃度＞



＜AUC＞



検討方法

動物種：ウサギ
系統：**KbI:JW**（♂）
投与開始週齢：**20** 週齢
投与開始体重：**2.87～3.03 kg**
使用動物数：**5**匹/群

直径**6mm**以下の錠剤ではウサギに2錠ずつ2回/日の合計4錠/日を8週間連続投与することが可能！
※ラットについては詳しくはお問い合わせください

○：投与可能　　×：投与不可
△：投与可能であるが、食道に負担をかける

ウサギの体重別単回投与可能な錠剤サイズ

錠剤サイズ(mm) ＼ 体重(kg)	直径：9.0 厚さ：2.4	直径：9.3 厚さ：3.0	直径：9.5 厚さ：3.0	直径：10.0 厚さ：3.0
2.5	△	×	×	×
3.0	○	△	×	×
3.5	○	○	○	×

第43回日本神経精神薬理学会 に参加します！

会期：2013年10月24日（木曜日）～26日（土曜日）
会場：沖縄コンベンションセンター
演題：**PS2APPマウスの各種評価系における学習能の評価及び抗痴呆薬の反復投与の影響**
演者：村澤 寛泰
発表した内容について来月発行の**vivo 11月号**で詳しく特集いたします。

ブース展示も行います。是非お立ち寄りください♪

佐部利 典彦のアートギャラリー(73)

岐阜県出身(1969～)

タイトル：「HUMAN」

作者の言葉
11月に岐阜市の上宮寺で展覧会を開催します。この作品は、本堂に設置する予定の旗の作品です。
シンプルな棒人間は、シンプルだからこそ、多くの要素を垣間見せます。
この作品は旗なので、染色の技法を用いました。白い部分は防染のりをおいて、染め抜いた感じです。

綿の布にアクリル絵具
5メートル×3メートル